

規制料金の再算定結果について

2023年4月4日
四国電力株式会社

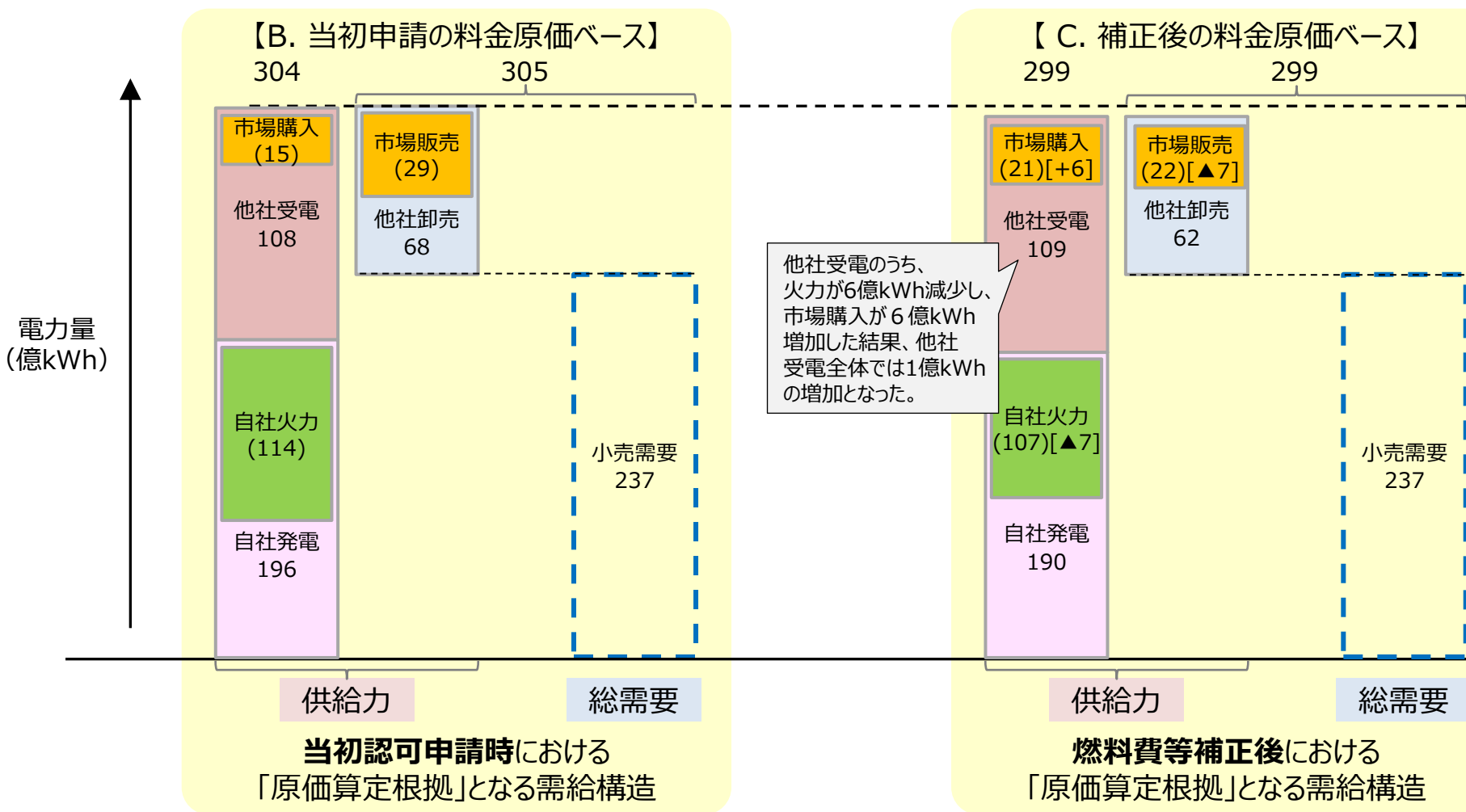
1. 需要想定・供給力（燃料費等の採録期間変更に伴う需給構造の変化）

1

- 燃料費等の採録期間の変更によって、石油・LNG価格は低下し、石炭価格は上昇した。
- 一方で卸電力市場価格はTOCOMの電力先物価格を用いることにより、単純平均価格で3.4円/kWh※低下した。
- 結果、C. 補正後の料金原価ベースでは、卸電力市場と自社および他社火力の間で13億kWhの差替が発生した。

（自社火力：7億kWh減、他社火力：6億kWh減、市場販売：7億kWh減、市場購入：6億kWh増）

※当初申請時の想定価格（21.25円/kWh）から第37回料金制度専門会合資料5にて示された西エリア価格（17.85円/kWh）に変更。



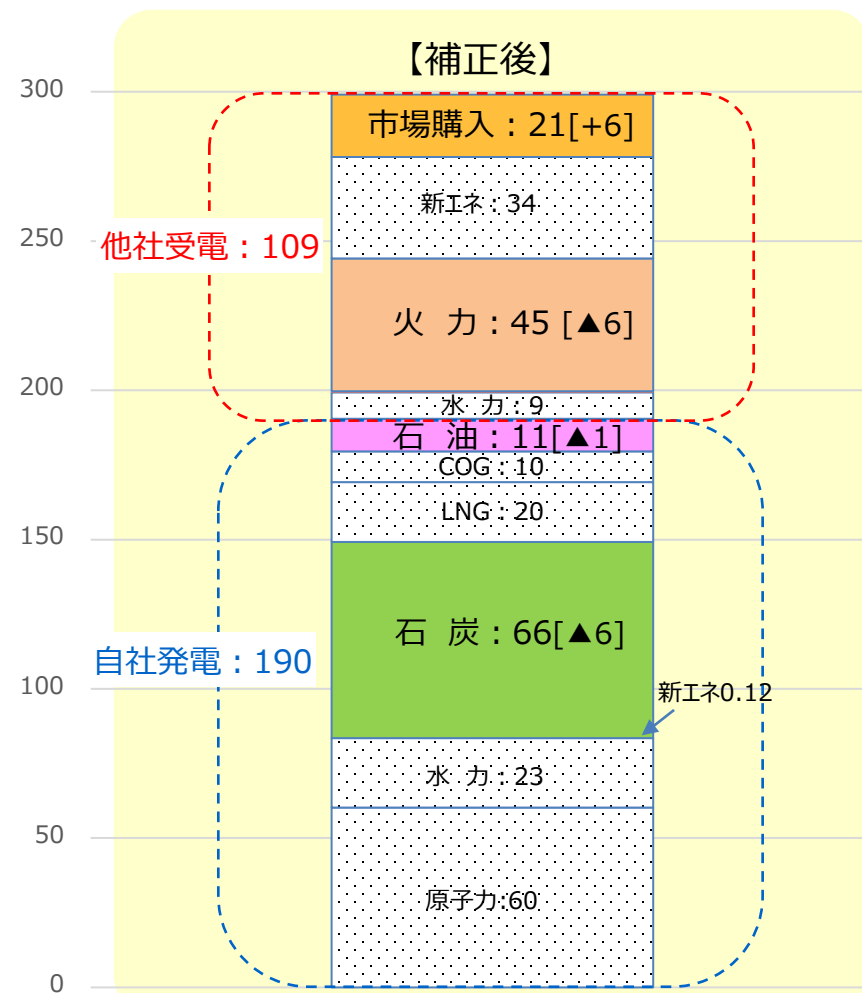
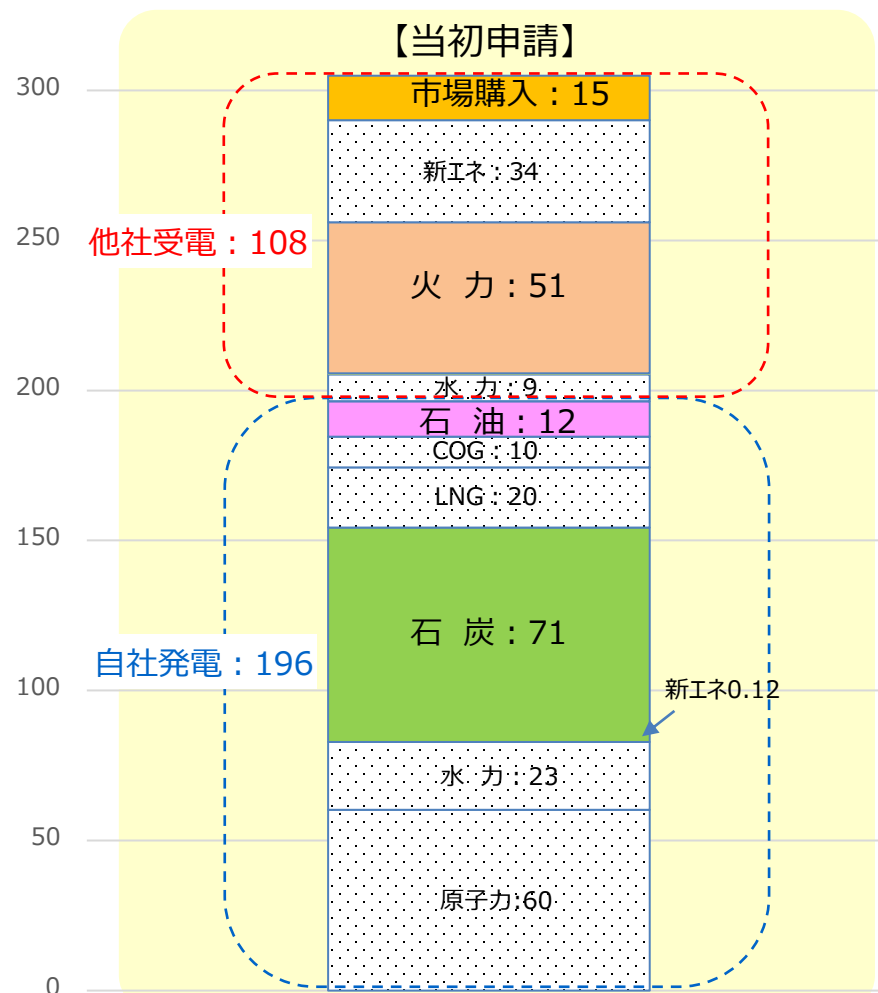
（注）端数処理の関係で内訳と合計が一致しない場合がある。

1. 需要想定・供給力（発電電力量における電源構成の変化）

2

- 自社火力については、石炭は6億kWhの減少、石油は1億kWhの減少となった。
（LNGは計画消費のため、またCOGは供給量が一定のため、発電電力量は変動していない。）
- 他社受電の火力は全て石炭であり、6億kWhの減少となった。
- 市場購入は、自社火力や他社受電の火力からの差し替えにより、6億kWhの増加となった。

（単位：億kWh、数字は全て送電端）



（注）2023～2025年度の3か年平均、端数処理の関係で内訳と合計が一致しない場合がある。[]は当初申請からの変更量。

1. 需要想定・供給力（供給電力量再算定結果（2023～2025年度））

3

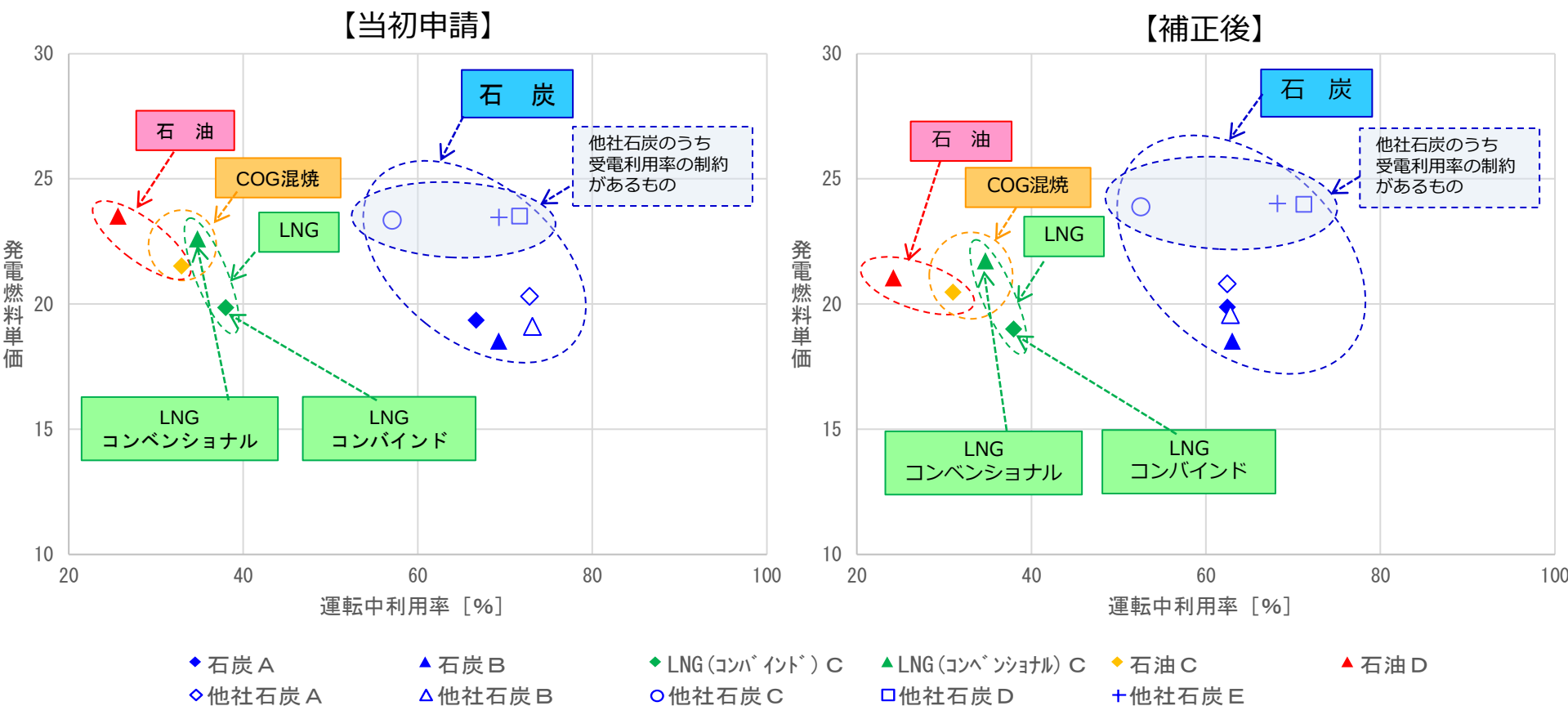
（億kWh）

年 度			2023年度	2024年度	2025年度	補正後 3年平均	当初申請 3年平均
項 目							
送電端電力量			239	236	235	237	237
送電供給力内訳	自社発電	水 力	23	23	24	23	23
		火力	石 炭	59	70	68	66
			石 油	13	7	13	11
			C O G	10	10	10	10
			L N G	21	19	21	20
			原 子 力	64	60	57	60
			新エネルギー※	0.09	0.11	0.16	0.12
			合 計	189	190	193	190
		他社発電	水 力	11	11	4	9
			火 力	51	43	40	45
			新エネルギー	34	34	35	34
			市 場	17	21	25	21
			合 計	113	109	104	109
			他社販売等	▲63	▲62	▲62	▲62
			[再掲]JEPX	▲28	▲29	▲29	▲22

※:火力のバイオマス混焼分を含む
 注：四捨五入の関係で合計が合わない場合がある

1. 需要想定・供給力（燃料費等の採録期間変更に伴うメリットオーダーの変化） 4

- 石炭火力については、市場価格の低下 [▲3.4円/kWh] および発電燃料単価の上昇により、卸電力市場との差替えが発生し、運転中利用率は、自社石炭AおよびBで▲5.3%、受電利用率制約がない他社石炭AおよびBで▲10.4%低下した。
- 自社石油CおよびDについては、発電燃料単価は低下したものの、市場価格の低下影響が大きく、石炭火力同様に卸電力市場との差替えにより、運転中利用率が▲1.7%低下した。



- 自社火力のCは同一発電所であるが、発電に使用する燃料の種類が異なるため別々に記載。
- 他社石炭のうち、受電利用率の制約があるC～Eの運転中利用率は▲2.8%の低下となった。
- LNG火力については、発電燃料単価は低下したものの、タンク1基制約による計画消費のため、運転中利用率は変動していない。

2. 火力燃料費の再算定結果（申請原価との比較）

5

○ 火力燃料費について再算定した結果、申請原価と比べて、▲154億円の減少となった。

(億円、億kWh[発電端]、円/kWh)

	再算定原価 (2023～25年度平均)			申請原価 (2023～25年度平均)			再算定原価－申請原価		
	金 額	発 電 電 力 量	単 価	金 額	発 電 電 力 量	単 価	金 額	発 電 電 力 量	単 価
自社火力計	2,248	114	19.72	2,403	121	19.89	▲154	▲7	▲0.17
石油系	245	12	21.11	297	13	23.57	▲51	▲1	▲2.46
ガス系	629	32	19.87	660	32	20.81	▲31	-	▲0.94
石炭系	1,374	71	19.43	1,446	76	18.90	▲72	▲6	+0.53

注. 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある

<参考> 全日本通関価格の比較

	再算定原価 (2022/11～2023/1)	申請原価 (2022/7～9)	再算定原価-申請原価
為替レート（円／\$）	138.8	137.1	+1.7
全日本通関原油価格 (上段：円/k l、下段：\$/b)	82,572 (94.6)	97,466 (113.1)	▲14,894 (▲18.5)
全日本通関LNG価格 (上段：円/t、下段：\$/t)	132,509 (954.9)	142,803 (1,041.9)	▲10,294 (▲87)
全日本通関石炭価格 (上段：円/t、下段：\$/t)	53,189 (383.3)	51,875 (378.5)	+1,314 (+4.8)

2. 火力燃料費の再算定結果（当社購入C I F 価格）

6

- 再算定に織り込んだ当社購入C I F 価格については、申請原価と同じく、重油は国内大手石油元売公表の高硫黄C重油公示価格に基づくC I F 価格、石炭およびL N Gは全日本平均並で算定した。
- なお、重油の公示価格については、元売公表の決定価格と仕切価格を用いて算定した。
（2022年10-12月決定価格と2023年1-3月仕切価格を月数比率＜2:1＞で合成）

		再算定織込CIF価格	全日本通関価格 (2022/11～2023/1)	差
重 油	円/kl	78,639	82,572	▲3,933(▲5%)
L N G	円/t	132,509	132,509	0
石 炭	円/t	53,189	53,189	0

3. 購入・販売電力料の再算定結果

7

- 燃料C I F 価格の採録期間を直近の全日本通関価格（2022年11月～2023年1月）に置き換えるとともに、市場価格を2023年2月における東京商品取引所における23年度各限月の電力先物価格への置き換えを実施した。
- これらの置き換えの結果、申請原価と比べ、購入電力料は183億円減少し、販売電力料は325億円減少した。

	再算定(2023～2025) A			申請原価(2023～2025) B			差 引 C = A - B		
	金額	電力量	単価	金額	電力量	単価	金額	電力量	単価
購入電力料	2,137	109	19.68	2,320	108	21.41	▲183	0	▲1.73
他社購入電力料	2,125	109	19.57	2,309	108	21.30	▲183	0	▲1.73
非化石証書 購入費	11	※(18)	0.64	11	※(18)	0.64	▲0	※(▲0)	0.00
販売電力料	1,418	59	24.19	1,744	65	26.72	▲325	▲7	▲2.53

注) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

※ 非化石証書の購入量を参考で記載（需給バランス上の購入電力量には含まない）

4. 総原価および規制料金原価の再算定結果

8

- 以上の結果、燃料費が154億円、購入電力料が183億円減少する一方、販売電力料が325億円減少（控除収益の減少により原価増）するため、総原価は申請比▲12億円の6,027億円となった。
- これに伴い、規制料金原価は申請比▲1億円の768億円、規制料金単価は申請比▲0.06円の35.36円/kWh、値上げ率は申請比▲0.23%の+27.85%となった。なお、モデル料金への影響について、家庭向け標準メニューの場合、月額料金は申請比▲25円、値上げ率は申請比▲0.32%となった。

<総原価への影響>

(億円)

	再算定 A	申請 B	差 A-B
燃料費	2,291	2,446	▲154
購入電力料	2,137	2,320	▲183
販売電力料	▲1,418	▲1,744	+325
その他	3,016	3,016	0
総原価	6,027	6,040	▲12

<規制料金原価およびモデル料金への影響>

(億円/年、円/kWh、円)

	再算定 A	申請 B	現行 C	差	
				A-B	A-C
規制料金原価	768	769	※1600	▲1	+168
規制料金単価	35.36	35.42	27.65	▲0.06	+7.71
値上げ幅 (値上げ率)	+7.71 (+27.85%)	+7.77 (+28.08%)	—	▲0.06 (▲0.23%)	+7.71 (+27.85%)

モデル料金※2	月額料金 (値上げ率)	10,095 (+27.54%)	10,120 (+27.86%)	7,915 (—)	▲25 (▲0.32%)	+2,180 (+27.54%)
---------	----------------	---------------------	---------------------	--------------	-----------------	---------------------

※1 現行料金を継続した場合の収入

※2 従量電灯A(260kWh/月)の場合